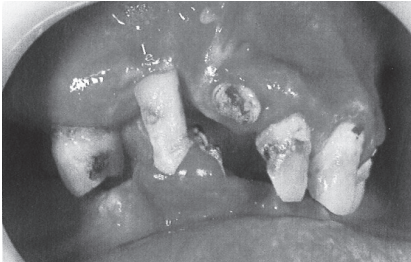


# 自分で抜歯した。。。

## ストップ 患者負担増

格差と貧困の中で

格差と貧困が広がる中で、国民皆保険の形骸化が進んでいる。安倍政権は、2016年度から3年間、集中的に社会保障費を削減することを宣言し、かかりつけ医以外の受診に追加定額負担や75歳以上の窓口負担の引き上げなど、さらなる患者負担増を計画している。患者から医療が遠のく事態をレポートする。



上顎に4本、下顎に1本残る女性の歯。再び、食事を噛んで食べられることを楽しみにしている。写真提供＝耳原歯科診療所

診療を行う事業。減免額は各医療機関によって異なる。

耳原歯科診療所事務長の三宅麻記さんの話

的な理由による受診中断を6割の歯科医院が経験している。「一回の金額を伝えると来院しなくなつた」「他の歯の治療は経費がかかり、受診できず手遅れになる人が後を絶たない。」

安倍政権が進める、高齢者の窓口負担の引き上げなど更なる受診抑制につながることは明らかです。許すことはできません。

女性のようにお金がなくて受診できないケースは増加しつつある。協会が取り組んだ受診実態調査では、半年の間で経済的に困窮した患者が、自己負担無料、または低額で受診できた。

### 無料低額診療

女性アルバイトの夫と二人暮らし。毎月の収入は生活費に消え、歯が痛んでも窓口負担が心配で受診できず、じっと耐えた。食べ物が噛めなくなる。お粥ばかり食べた。たまに固形物を食べ

今春、下血をして近所の内科を緊急受診。見かねた医師に歯科治療を強く勧められ、無料低額診療(※)に取り組んでいく。同診療所を紹介してもらった。女性は、再び噛める日を心待ちにして

### 基軸 アベノミクス 恐るべき正体 ④

同志社大学大学院教授・浜矩子氏に聞く

「軽減税率」というオブラートに包んで飲み込ませるようなものです。本来、租税制度は富の偏在や格差を是正する所得再分配装置であり、応能負担が原則です。消費税とは金持ちの贅沢品に



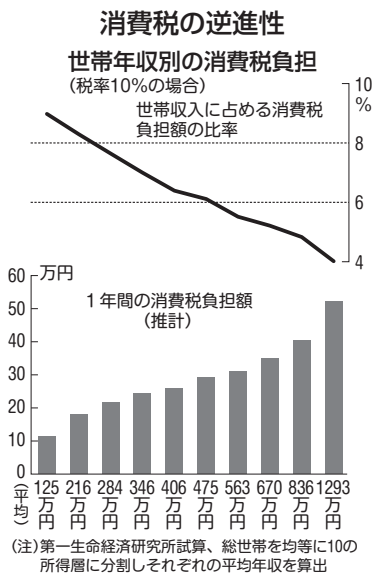
5/25  
2016年第1235号  
(毎月5、15、25日発行)

## 国家サービスの本丸

財政再建を理由に2017年4月から消費税を10%に上げる一方で軽減税率が導入されます。大増税という毒薬を

### 法人減税は 大企業のため

「諸外国と比べて法人税率が高いから企業が逃げていく」ことを理由に、法人税の減税が進められています。そもそも諸外国と単純に税率を比べることは無意味です。日本の法人税が高いから企業が逃げるという発想は根拠がありません。企業が立地する条件は法人税率以外にも様々な条件があります。優秀で豊富な労働力、治



### 富裕層の負担必要

めなのかは明らかでしょう。投資割合が高くなりますが、一般的に経済発展とともに、社会保障サービスへとシフトします。経済の成熟度を反映したまともな姿です。

社会保障は経済発展した国家において国民サービスの本丸です。削減の本丸という発想がわかしいのです。先進諸国と比べても政府の支出は高くないです。10%にも上る国債償還への利払いや5兆円を超える防衛費の方が問題です。そして、本気で財政再建を考えるなら、大企業や富裕層にしっかり負担してもらわなければならないでしょう。

### 「ソ満国境15歳の夏」

6月12日(日)

①13時②15時30分

料金：無料 会場：M&Dホール

おおさか医科・歯科九条の会は、戦前の満州で勤労動員された中学生たちの悲劇を描く「ソ満国境15歳の夏(2015年公開)」を6月12日(日)、M&Dホールで上映する。1945年夏、敗戦によってソ連と満州の国境付近に置き去りにされた中学生たちは故郷への逃避行の末、出演は田中湜、夏八木勲ほか。申込みは06-6568-7731(歯科協会)

### 熊本地震救援募金

熊本地震で被災された熊本協会歯科・医科会員支援のため、救援募金に取り組みます。募金は、熊本協会に届けます。

【救援募金の方法】

①郵便振替 (今号に郵便振替用紙を同封)  
②銀行振込 (近畿大阪銀行堀江支店、普通0021998)

### 小内亨氏講演会

(おない内科クリニック院長)

市民講座 「その健康情報、信じていいの？」

日時 6月5日(日) 午後1時半～3時半

会場 M&Dホール

会費 無料

お知らせ  
保険算定のルールやレセプトの返戻などに関するお問い合わせは、社保研究部 直通電話06-6568-7467をご利用ください。

5月の大型連休に幼い孫が泊まりに来た。私は動物園、水族館、乗り物パーク、お絵かき、本などの選択肢をあれこれ選んでその日を待ちわびていた。ところが孫はどれにも関心がない。爺の所で退屈しないように、ゲーム持参での来訪だった。「勝手にしろ」と私も自分の読書に沈潜した。

地球上には貧困で教育も受けられず、生きるために労働している子どもが溢れている。その子らが成人しても、こびりついた貧困は離れず、麻薬に関わったり、臆病なものでも犯罪者すれすれで糊口をしのいでいる。だが、世のセレブの大半は労働者を無慈悲に酷使したり、国に武器を売ったり卑しい生業で稼ぐ者もいる。

貧困者もセレブも空しさで孤独から逃れられない社会は、小説家たちによって20世紀初頭から予言されていた。

実際に救いの手をさしおのべようとしたのは国でも政治でもなく宗教だろが、現代人の猜疑心はそれも受け付けない。

歯界  
5月の大型連休に幼い孫が泊まりに来た。私は動物園、水族館、乗り物パーク、お絵かき、本などの